

## 街なか再生・目抜き通り整備事業

受賞機関 石川県南加賀土木総合事務所

はじめに

石川県の南西部に位置する山中町は、古くから総湯を中心に温泉街を形成し、大聖寺川と山々に囲まれた山紫水明の地である。しかしながら、街並みの大部分がモータリゼーションの発達以前に形成されたため、大聖寺川沿いの限られた土地に市街地が密集し、道幅も狭く、歩道も未整備であり、観光客や地元民にとって利用しづらい道路でした。また、山中温泉の観光客数は年々減少しており、安全安心なまちづくりと賑わいの再創出、街なか再生が緊急性の高い課題とされてきた。

事業の概要

このような状況を受け、地域活性化の起爆剤とするため、街路事業に合わせ沿道の街並みを一体的に整備することにより、賑わいの創出を図る目的で実施したものであり、平成9年度から事業に着手し、平成15年11月に完成した。



### 【観光回遊ルート】

ゆげ街道～こおろぎ橋～鶴仙溪～あやとり橋～山中座・総湯

- 事業名：街なか再生・目抜き通り整備事業
- 路線名：都市計画道路温泉中央南線  
(主要地方道山中伊切線)
- 施工場所：石川県江沼郡山中町南町
- 施工延長：L = 342m
- 幅員：W = 13m (6.5mから拡幅)
- 事業費：C = 2,209百万円

事業の特徴

### (1) みちづくりからまちづくりへ

本事業の実施にあたり、沿線住民を中心に「温泉中央南線（山中温泉ゆげ街道）街なか再生・目抜き通り整備協議会」を設立、まちづくりに対する意識高揚と合意形成を図った。沿線住民が提案した「1店舗2業種」への取り組みや、空き店舗を活用した「町人旅人亭」の整備など、南町ならではの賑わい施策の展開を積極的に行っている。

### (2) 街並み景観の形成

山中町では、歴史と文化を尊重し、自然と調和のとれた個性ある美しい景観の形成を図ることを目的とし、景観条例を定めている。これに基づき、独自の景観形成基準を策定し、良好な街並み景観の形成に努めている。

### (3) みちすじ整備

路面は温泉街らしい温かさを創出するよう、温泉街が最も賑わった大正から昭和初期にかけての「土のみち」をイメージし、電線類地中化と併せて街路整備を行った。

まちづくりへの取り組みの効果

整備前は、道幅が狭く、歩行者と車両が混在する利用しづらい道路でしたが、本事業の実施により「ゆっくりゆったり」できる安全安心な道路が整備された。また、事業着手当初の平成10年度と事業完了後の平成16年度に実施した歩行者調査の結果、歩行者数が約2.6倍（1,252人 → 3,206人）になった。



おわりに

現在、南町ゆげ街道の両側について、事業延伸を行い、街路整備を行っている。南町の経験をいかして引き続き賑わいの創出を図っていきたい。